

## ◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 エコ.エコ  
代表者：代表理事 加倉井憲一  
URL : <http://eco-minuma.com>

22A-07

### 1. 活動が必要とされた状況

保全場所に水を入れるためにポンプとパイプを必要としました。  
体力の消耗の少ない手押しの草刈り機、便利な電動バリカンを必要としました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など） 2019.4.1～2020.2.20

<b>湿地保全</b>	月2回 第2木曜、第3金曜	
	他に臨時保全を実施	283名
<b>観察会</b>	見沼自然公園にて年12回	552名
<b>里山体験</b>	畑、森、湿地での保全体験	422名
<b>ゴミ拾い</b>	畑作業	51名
<b>支援活動</b>	チャレンジスクール、民家園、アンロード、eママ、 グーチョキパーティー	420名
<b>イベント</b>	コープ夢みらい、見沼秋フェス、桜エコフェスタ2019、 防災キャンプ	476名
<b>森の手入</b>	<b>講演会</b> 環境講演会 チャレンジスクール	305名
		合計 2509名



### 3. 活動の成果

○見沼原形保全区間の草刈りの頻度が高く、定例作業だけでは間に合わなく、臨時の作業を行っています。少ない人数で手押しの草刈り機は大変役立っています。  
○前回購入していただいたドローンやゴープロで保全地を空撮することで、動画を作成することができました。より良い自然理解の輪を広げるのに役立っています。  
○今まで行ってきた湿地の保全活動、観察会、里山体験、イベントを実施しました。支援活動も新たな繋がりができ活動の幅が広がりました。  
○湿地に置いてある籠も道行く人の目にとまるようになり、見沼原形保全区間の目印になりつつあります。今年度は中学生の野外活動時に湿地に立ち寄ってもらい自然保護について解説できたことは大きな収穫になりました。



### 4. 今後に残された課題

- ①見沼原形保全区間の手入れを今後とも行い、動植物の保護に努め生物多様性の保たれる空間を増やしていき、多くの方の理解を得る努力をします。
- ②環境教育、自然観察会、里山体験を行うことで、豊かな社会を創る一つの力になるよう働きかける方法を模索中です。
- ③動植物の記録をまとめの準備中です。
- ④公有地に向けた取り組みを模索中です。
- ⑤動画を多く作成し、自然理解の輪を広げたい。

